



職長能力向上研修

ひとり現地KYの実施

# 災害の要因分析

近年発生した災害分析の結果

**不安全行動によるものが80%程度**

なぜ不安全行動・動作をしてしまうのか？

- ・ついうっかり、大丈夫だろうと思って・知らずに・忘れる等の「**ヒューマンエラー**」によるもの  
(無意識のうちに行動をしてしまう)

# ヒューマンエラーを防ぐには？

## 仲間に助けてもらおう

- ・「一声掛け合い運動」  
「声掛けリーダー運動」等の  
声掛け運動

## 自ら意識して防ぐ

- ・ KYM 現地グループKY < SC-5 >  
最終的 1人現地KY活動である

# SC-5 → 1人現地KYへ

- ・職長は、作業手順、番割り  
安全指示事項等を行う。
- ・職長は作業員に問い掛けながら  
安全意識を導き出す。
- ・作業員は、どんな危険があるか1Rで  
予想する。自主的に対策を挙げさせ  
行動目標を樹立する。2R

## ・・・2ラウンド法

- ・シュプレッヒコール
- ・職長は、持ち場に着了いたら  
「1人現地KY」を実施する旨  
を指示をする。



# 現 地 K Y

## グループKY・・・2R法

【方 法】 SC - 5

職長が作業員1人1人に問い掛ける。

【流 れ】

健康KY

作業内容説明

番 割

問い掛けKY

個別に作業前の指示

シュプレヒコール



## 1人現地KY

【方 法】

グループKY実施後、  
作業員各自が1人で実施する。

【流 れ】

設備、機械、工具の点検

ワンポイント

指差呼称

<行動目標>



# 「1人現地KY」の取り組み方

1人ひとりがそれぞれの作業場所において、  
その都度、いざこれから作業を開始する直前に

- ・ **短時間** (10秒程度) で、
- ・ 物が落ちてこないか? 「**上ヨシ!**」
- ・ 落ちないか? 「**開口部、手すりヨシ!**」等  
自分の上下・左右・前後に  
**指を差して声に出す**

# 1人現地KYのスタイル

作業内容は、

1Fから2Fへ足場材吊込み作業

玉掛者は、

ワイヤー、介錯ロープを確認

行動目標

「荷から3m離れ ヨシ！」



クレーンオペレーターは

架線との距離、

立入禁止措置を確認

行動目標 「アウトリガーの

完全張出しヨシ！」





合図者は、  
高所足場の作業床 及び



端部に手すりが有るか確認



行動目標の、  
「安全帯 手すり掛け  
ヨシ！」  
指差呼称してから



合図を行う



荷取者は、荷卸場所や枕木



行動目標の、

「介錯ロープ誘導

ヨシ！」

指差呼称する



それぞれが指差呼称して本作業に入る

# 「1人現地KY」に取り組む留意点

**作業開始前に行うのは当然だが、**

- ・ **作業変更**が生じた場合
- ・ 不具合を見つけたらそのままにせず、  
改善してから作業を開始する
- ・ 形式的にならないようにする
- ・ なにかに記入したり、記録に残すことを最終的な目的としない。

# 「1人現地KY」に取り組む理由

- ・「間」を置く 思考・行動の切り替え
- ・意識が集中する(うっかり、ぼんやり)に効果的)
- ・作業開始直前の危険を発見できて手が打てる

## \* 取り組みやすい

誰でも、いつでも、どこでも短時間で出来る

これにより

不安全行動の防止に高い効果がある

# 「1人現地KY」の実施現状は？

**なかなか定着しない・・・その理由は、**

- ・みんながやっていないのに自分だけやるのは「**恥ずかしい**」「**照れくさい**」
- ・どの場所でやるのかタイミングが難しい
- ・**面倒くさい**

# 「1人現地KY」を定着させるには？

## 推進重点事項

- ・1人現地KYの重要性を理解させる
- ・ムードを盛り上げる
- ・社員、事業主が指を差して「やってみせる」
- ・行動を開始する前に「訓練をする」
- ・徐々に声を出せるようにする
- \* 1人現地KYの完成型を目指し業界のスタンダードへ進展させる

# 「1人現地KY」の指導・教育

## 指導・教育の具体策

- ・作業開始前に、
- ・作業変更時に、
- ・年度始め、安全週間、年末年始災害防止運動の時に、



社員、事業主、職長(リーダー)が  
「1人現地KY」の趣旨や取り組み方を



指導・教育する

# 職長能力向上教育



現地KYの演習

災害事例  
原因と対策

# 「1人現地KY」徹底の為の具体策

## 1. リーダーの養成

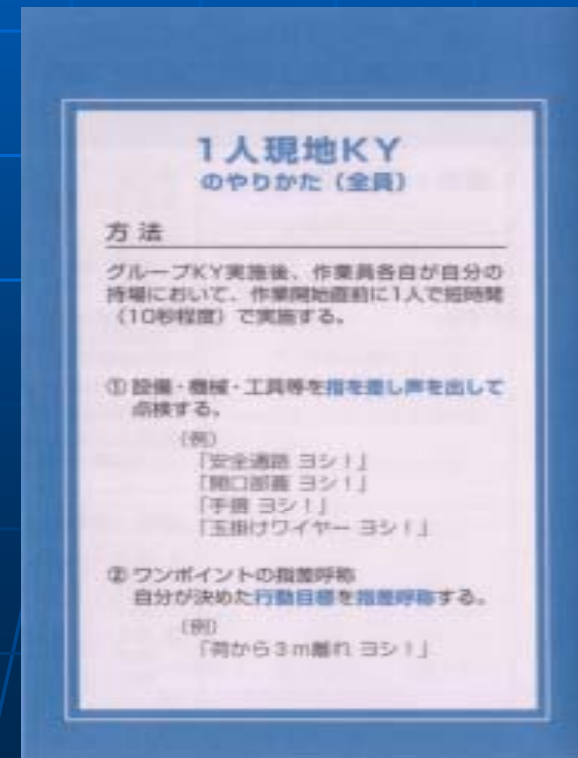
- ・職長能力向上教育において実施

## 2. KY実施用シートの活用

- ・リーフレットの作成、活用



## 3. パトロール時等実施状況の確認





リーフレットの  
の例  
各店社に  
合った内容で  
作成し掲示  
しましょう。

## 1人現地KY のやりかた（全員）

### 方法

グループKY実施後、作業員各自が自分の持場において、作業開始直前に1人で短時間（10秒程度）で実施する。

- ① 設備・機械・工具等を指を差し声を出して点検する。

（例）

「安全通路 ヨシ！」

「開口部蓋 ヨシ！」

「手摺 ヨシ！」

「玉掛けワイヤー ヨシ！」

- ② ワンポイントの指差呼称  
自分が決めた**行動目標**を指差呼称する。

（例）

「荷から3m離れ ヨシ！」

# 目指すは災害ゼロ

先端作業員まで、

「自分はケガをしない！」「仲間からケガ人を出さない！」

といった意識を持たせる事。それには、

「一歩前進したKY」

つまり

「1人現地KY」活動実施の徹底

それには

繰り返し根気よく、指導・教育・訓練を積み重ねる

そして

「1人現地KY」活動の定着を図る